



社協だより

92
2017.7.28発行

住みたいまち大刀洗 住んでよかった大刀洗町



- 平成28年度事業報告（抜粋）
- 小地域協議会のページ
～*町で暮らす*を支えるしくみ～
- 菊池小学校4年生の福祉学習
- 笑顔キラキラ☆保育園だより
- 盛り上がっています！健康マーじゃん！
- 九州北部豪雨災害義援金について



『平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害』義援金の募集について

この度の豪雨災害を受け、福岡県共同募金会大刀洗町支会では、被災された方々への支援のため、義援金の募集受付をします。一日も早い復興に向けてご協力をお願いします。
詳細は6ページをご覧ください。（写真：東峰村災害ボランティアセンターフェイスブックより）

■ 社会福祉法人 大刀洗町社会福祉協議会

〒830-1201 大刀洗町大字富多819
TEL/0942-77-4877 Fax/0942-77-6220

■ 大堰保育園

〒830-1205
大刀洗町大字守部465-5
TEL/0942-77-1402

■ 本郷保育園

〒830-1211
大刀洗町大字本郷899-1
TEL/0942-77-2220

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>



この社協だよりは、共同募金の配分金より発行しています。

平成28年度 大刀洗町社会福祉協議会事業報告

1. 事業全体に対する総括

平成28年度は、前年度に策定した「地域福祉計画」「地域福祉活動計画」の初年度として、住民に向けた周知啓発を行うとともに、「地域福祉を皆で進めていく」という意識づくりを行ってまいりました。

また、社会福祉法の大幅な改正を平成29年4月に迎えるにあたり、定款の変更をはじめとした役員・評議員体制の見直し、社会福祉法人のガバナンスの強化を中心に法改正に向けた準備を行いました。また、本部体制の確立やメンタルヘルスの体制づくりとして「衛生管理規程」の制定及び「衛生委員会」の設置と産業医の配置を行い、職員の働きやすい体制づくりに務めました。

熊本地震においては、『災害ボランティアセンター』の運営支援に関わり、本会職員も被災地の現状と社会福祉協議会として災害時に備えた体制づくりの必要性を痛感いたしました。

今後、「地域包括ケアシステム」や「生活困窮者自立支援」など、社会福祉協議会が基盤とする「地域福祉」に国の制度が着目しつつあります。本会も小地域協議会を基盤とした「地域福祉活動」を丁寧に進めていくことで、様々な制度に対応できるよう今後も事業を進めていきます。

2. 重点目標

(1) 地域福祉計画及び地域福祉活動計画に基づく事業の展開

4月末に全世帯に概要版を配布し、住民に周知を図るとともに、小地域協議会、要援護者見守りネットワーク全体会や福祉協力員研修会においてもパワーポイントを用いて計画の説明を行い、計画推進に向けた理解を求めました。

また、今年度の地域福祉講座のテーマを本計画についてとし、地域福祉計画・地域福祉活動計画を中心とした福祉のまちづくりを考える場を持つことが出来ました。

(2) 要援護者見守りネットワーク事業の推進

各行政区単位での小地域協議会も、見守り活動や情報交換について地域での定着が伺えます。小地域協議会開催時には社協職員及び地域包括支援センター職員が必ず参加することで、情報交換や緊急の対応等がスムーズになってきました。また、認知症外出者搜索模範訓練も小地域協議会が主体となつて実施する地域もあり、住民の意識も向上していると考えられます。

今後は、地域包括ケアシステムの生活支援体制整備事業と絡めて、地域での支援体制であったり、地域の生活課題を洗い出し、必要なサービスを考える場としても考えていく必要があると思われれます。

(3) 社協の基盤強化

社会福祉法の改正に伴い、定款の大幅な変更とともに理事・監事・評議員の体制を見直し、新たに「評議員選任・解任委員会」を設置して、公正な組織体制の確立を行いました。

また、本部体制につきましても多岐にわたる事業の運営管理を行うために係長職を配置し、事務局長を中心とした本部体制を整えました。

保育園事業につきましては、園児の安全と保育しやすい環境づくりのため職員の適正な人員配置と処遇等の検討をし、職員のメンタルヘルスを含む健康維持を目的に「衛生委員会」を設置するとともに産業医を配置し、職員が働きやすい体制を整えつつあります。

事業報告

法人運営部門

(1) 社会福祉協議会の運営

- ・安全衛生管理規程の制定及び衛生委員会の設置
- ・熊本地震に対する被災地（災害ボランティアセンター）支援

地域福祉活動推進部門

(2) 住民主体の地域福祉活動の推進

- ・要援護者見守りネットワーク協議会幹事会・全体会の開催
- ・要援護者見守りネットワーク協議会小地域協議会の推進強化
- ・救急医療情報キット「いのちのバトン」事業の実施

配布数・303セット
ミニデイサービス事業
延べ実施回数・234回
延べ参加者・6,237名

地域福祉講座の開催
『支えあい助けあいまち大刀洗』を旨として「地域福祉計画・地域福祉活動計画」から、

講師・(株)ジャパンインターナショナル総合研究所
プランナー 田口誠也 氏

(3) 高齢者福祉の推進事業

- ・福祉バス運行事業
- ・男性の料理教室への支援
- ・老人クラブの育成と支援
- ・健康マージャンサークルの立ち上げ

地域包括ケアシステムの構築（健康福祉課・地域包括支援センターとの協働）

(4) 障がい者福祉の推進事業

- ・凸凹の会（点訳の会）への支援
- ・身体障がい者福祉会への支援
- ・視覚障がい者へ朗読ボランティアによる「声の広報」録音CD配布

地域自立支援協議会への参加

(5) 子育て支援の推進

- ・子ども見守り隊への支援
- ・母子・寡婦・父子福祉の推進

母子寡婦福祉会の援助

(6) ボランティア活動の推進

- ・ボランティアセンターの運営
- ・ボランティア連絡協議会への連携

ボランティア入門講座の開催
「365日をニッス豊かに」
いきいき暮らすための
ボランティア

- 講師・西九州大学大学院健康福祉学科 教授 滝口 真氏
- 朗読研修会
- サマースクールボランティア養成講座
- ボランティア情報誌「ちよぼら」の発行 年3回
- (8) 福祉教育の推進
 - 福祉協力校事業
 - 小・中学校の福祉教育への協力
 - 保育園・所の福祉事業への援助
- (9) 共同募金・歳末たすけあい運動への協力
- (10) 当事者組織への支援
 - とまり木の会(家族介護者の会)
 - 語ろう会(障がい者当事者及び家族の会)
 - ぽけっと(障がい児・者親の会)
 - 精神障がい者家族会への支援
 - 子と親・花花の会(不登校・引きこもりの方の家族会)
- (11) 広報と啓発活動
 - 社協だよりの発行 年6回
 - ホームページ及びフェイスブックの運営
- (12) 地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進

相談援助部門

- (13) 各種相談事業
 - ・心配ごと相談事業
 - ・無料弁護士相談
 - 相談件数・計24件
- (14) 日常生活自立支援事業
- (15) 生活福祉資金貸付事業
- (16) 臨時食料品等給付事業(フードバンク)

在宅福祉サービス部門

- (17) 居宅介護支援事業
 - ・身体障がい者・知的障がい者・児童へのホームヘルプ事業
 - ・生活管理指導員派遣事業
- (18) 一般相談支援事業
- (19) 特定相談支援事業
- (20) 障害児相談支援事業
 - ・基本相談支援及び計画相談支援(サービス等利用計画の作成)
- (21) 各種在宅介護サービス事業
 - ・福祉有償運送事業
 - 運行回数・160回

児童福祉施設運営部門

- (22) 保育園運営事業
 - ・大堰保育園、本郷保育園の運営
- (23) 病後児保育事業

受託事業部門

- (24) 障がい者相談支援事業
 - ・障がい児・者、引きこもりの方等の相談支援(就労支援、生活支援)
 - ・障害支援区分認定調査
 - ・事業所等関係機関との連携、ケース会議等への参加と支援



平成28年度 大刀洗町社会福祉協議会

収支決算統括表

(単位：円)

会計名	拠点区分	サービス区分名	期首金額 (前年度繰越金)	収入済額	支出済額	次年度期首金
一般会計	本 部	1. 法人運営	3,608,224	21,389,127	28,080,789	2,112,562
		2. 小地域ネットワーク	301,030	2,688,000	952,793	149,237
		3. ミニデイ	343,559	2,200,000	2,253,213	290,346
		4. 共同募金配分金	69,548	3,954,800	4,016,218	58,130
		5. 生活管理指導員派遣	409,147	138,270	78,400	469,017
		6. 基準該当居宅支援	13,371	824,700	639,871	198,200
		7. ボランティアセンター	303,416	2,440,000	1,051,378	233,038
		8. 生活福祉資金貸付事業	1,160	252,743	252,743	1,160
		9. 心配ごと相談事業	87,554	180,000	313,262	54,292
		10. 福祉バス運行事業	201,921	3,820,250	3,653,763	368,408
		11. 福祉有償運送事業	94,316	146,540	159,435	181,421
		12. 病後児保育事業	0	4,182,867	4,182,867	0
		13. 障害者相談支援事業サポート	129	0	0	0
		14. 障害者相談支援事業	536,321	8,363,800	6,884,778	2,015,472
		小 計	5,969,696	50,581,097	52,519,510	6,131,283
		大堰保育園	1. 大堰保育園	18,911,759	96,437,809	91,325,192
	本郷保育園	1. 本郷保育園	25,062,494	140,260,865	134,627,701	29,395,658
	合 計		49,943,949	287,279,771	278,472,403	58,751,317

地域の見守り活動に関する
 取り組みをご紹介します。

◆町で暮らす◆を支えるしくみ

いつまでも大刀洗町で安心して暮らすために

今回は、平成21年よりスタートし、町全体で進めている『要援護者見守りネットワーク事業』の取組みについてご紹介します。

■どうして始まった？

急速な少子高齢化・核家族化や単身世帯の増加・ご近所づき合いの減少など、昔と比べ社会環境が大きく変わっており、『困った』時に周囲に相談したりサポートを受けたりすることができにくい人たちが増えて

います。そこで、高齢であ

っても、障がいがあっても、子育て中であっても、誰もが安心して暮らせる支え合いのしくみづくりを目指して、この要援護者見守りネットワーク事業は始まりました。

っています。

この活動を通してご近所同士のつながりができ、病院受診につながったり悪質な訪問販売の被害を未然に防いだり、地域の中での『気づき』と関係機関に『つなが』といった連携により、深刻な状況になる前に解決する事柄も増えています。

■どうやって見守り活動をしているの？

大刀洗町では、行政区単位で、区長や民生委員児童委員、老人クラブや福祉協力員等が中心となって『小地域協議会』という組織を作り、配慮や援護が必要な方たちを対象に見守り活動を進めています。訪問に限らず、日常の買い物や散歩の途中に『気にかける』『あいさつをする』というさりげない気づきかけが主体とな

平成29年4月現在、大刀洗町の人口は15552人、65歳以上の高齢化率は26%、一世帯あたりの人員は2.9人となっています。10年前と比べ、高齢化率は5%増、65歳以上の数は800人増えています。また、核家族化による世帯人員の縮小で、高齢者の一人暮らし、夫婦や親子だけの高齢者世帯が増えています。

今後2025年には、75歳以上の後期高齢者が人口の20%を占め、医療や介護が必要となる人がますます増えることが予想されます。

周りへの関心を持ちにくい時代ですが、『地域に関心をもつ』『関係を作る』といったことが、将来自分たちが高齢になった時に安心して暮らせる町につながります。『家族』が『隣近所の方』が、もしくは『自分』が困った時お互いに助け合えるようにちよつとしたあいさつから始めませんか。

菊池小学校4年生の福祉学習 みんながくらしやすいまち大刀洗

○アイマスク体験、車椅子体験

普段生活する学校内で、目や体の不自由な人とその方を介助する人の体験をしました。「どういった声かけが本人にとって嬉しいか」など障がいのある人の気持ちを想像しながら学習しました。



○原謙二さんのお話

1人暮らしをする視覚障がいの原謙二さんに、児童から「普段の生活の仕方」や「見えなくなった当時や今の気持ち」等たくさん質問がありました。原さんから『不便なこともあるけれど、人の力を借りたり自分で工夫したりすることで、できることもたくさんあります』『困っていい方を見かけたら思い切って声をかけてほしい』という話があり、児童は驚いたり頷いたりしながら熱心に耳を傾けていました。



大堰保育園

プール開き

楽しみにしていたプール開きがあり、「安全にプール遊びができますように」とお祈りしました。広いプールで伸び伸びとたくさん遊びたいです。



リトミック楽しいな

じゃが芋の皮むきだよ～




笑顔キラキラ☆
保育園
だより

本郷保育園



わー つめたーい！
でもたのしいね！

畑の野菜もすくすく成長し、収穫したじゃがいもでクッキングをしたり、夏野菜の収穫が楽しみになってきました。「星型きゅうり」を給食の中から見つけると子どもたちも嬉しそうです。また、雨続きで中断していたプールも、これからは思いっきり水遊びを満喫したいと思います。



ねがいごと
かなうかな？
かなうといいね



みて！みて！
おおきなおいもが
とれたよ！



盛り上がっています！

健康マーじゃん！

今、「マーじゃん」が脳の活性化や認知症予防として注目されています。「マーじゃん」と言えば、あまり良いイメージを持たない方も多いのではないかと思います。現在サークルとして活動している「健康マーじゃんサークル 脳トレ！雀友会（じゃんゆうかい）」では、

- ・（金銭を）賭けない
- ・（たばこを）吸わない
- ・（アルコールを）飲まない

この3つを大前提として、『脳の活性化』『老化防止』『引きこもり防止』『仲間づくり』を目的に、初心者から経験者まで男女問わず楽しんであります。

初心者向けの教室は5月いっぱい終了しましたが、興味がある方は毎週月曜日ぬくもりの館においてサークルが開かれていますので、様子をのぞきにいられてはいかがでしょうか。

健康マーじゃんサークル 雀友会（じゃんゆうかい）

毎週月曜日 9：00～12：00
ぬくもりの館（役場東側）

※見学だけでも大丈夫です。
※正式にサークルに加入する場合は年会費（1,000円）が必要です。

【問い合わせ先】 大刀洗町社会福祉協議会 0942-77-4877

平成29年7月九州北部豪雨災害義援金の募集について

福岡県共同募金会大刀洗町支会では、平成29年7月5日からの大雨で被災された方々へのお見舞いのために、義援金の募集・受付を行います。

- 取扱い期間 平成29年7月10日(月)から8月31日(休)まで
- 取扱い場所 大刀洗町大字富多819 ぬくもりの館（役場東側）
- ※ぬくもりの館入口に募金箱を設置しております。（8:30～17:15）
- ※義援金について税制上の優遇措置（所得税、法人税）がありますので、領収証を希望される場合は社会福祉協議会窓口までお願いします。

■義援金の振込窓口について

金融機関	支店名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行		口座記号番号 00980-0-332036	福岡県共同募金会 7月大雨災害義援金
福岡銀行	春日原支店 (277)	(普)1932835	社会福祉法人福岡県共同募金会 会長 小川弘毅
西日本シティ銀行	春日原支店 (003)	(普)3063234	

- ※ゆうちょ銀行における窓口での振替料金は無料
- ※福岡銀行、西日本シティ銀行各本支店における窓口での振り込み手数料は無料
- ※上記以外のお金、ATM 及びインターネットバンキングを利用した振込みは手数料有料

■義援金の配分について

福岡県共同募金会で取りまとめた義援金については、福岡県災害対策本部へ送金し、福岡県が設置する義援金配分委員会を通じて被災者へ配分されます。

- 問合せ先 福岡県共同募金会大刀洗町支会（大刀洗町社会福祉協議会）
Tel/0942-77-4877 Fax/0942-77-6220

障がい者相談支援員



おうまる ちひろ
王丸 千裕

はじめまして。6月1日より主に障がい者相談を担当しています。大刀洗町社協に来て約2ヶ月、出会う方々の笑顔や優しさを感じる機会が多く、心温まる毎日過ごしています。未熟な点も多いですが、これから町のことをたくさん知り、皆様のお役に立てよう頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

「障がい者相談支援事業所ぬくもり」では、障がいがある方やそのご家族等からの相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。